



News Letter



VOL.10
2018年11月号



平成30年度 女性およびライフイベント (育児) 中の研究者支援の取り組み

平成30年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ研究助成金 採択者

| 氏名 | 所属 | 研究課題名 | 助成金額 |
|--------------|-------------|--|------|
| 中田(有光)なぎさ 助教 | 免疫学・病害動物学 | Reelin/Disabled 経路修復による神経保護機構の解明と治療の試み | 50万円 |
| 鈴木由妃 助教 | 産婦人科学 (婦人科) | 妊孕性温存治療における未受精卵子凍結の改善策を探るー成熟卵子および未成熟卵子のミトコンドリア動態を解明するー | 50万円 |

平成30年度聖マリアンナ医科大学 ダイバーシティ表彰(学術分野) 受賞者

| 氏名 | 所属 | 掲載雑誌名 | 論文表題 | 発行年月 | 巻・号 |
|----------|------------|--------------------------------|--|---------|--------|
| 松澤亜紀子 講師 | 眼科学 | BMJ Open Ophthalmology | Use of four asymmetric marks to orient the donor graft during Descemet's membrane endothelial keratoplasty | 2017.8 | 1(1) |
| 黒坂光寿 助教 | 生理学 (統合生理) | Journal of Cellular Physiology | Early Growth Response 3(Egr3) Contributes a Maintenance of C2C12 Myoblast Proliferation | 2017.5 | 232(5) |
| 浅井大輔 講師 | 微生物学 | Acta Biomaterialia | In situ depot formation of anti-HIV fusion-inhibitor peptide in recombinant protein polymer hydrogel | 2017.12 | 64 |

※応募資格

- 1: 女性の講師または助教(非常勤講師除く)
- 2: 講師または助教で、ライフイベント(育児)中*であること(男女とも可、非常勤講師を除く)

*小学校3年生までのお子さんをお持ちの方

ダイバーシティ表彰(学術分野)授賞式 平成30年11月2日(金)17時30分～教育棟1階マリオン



後列: 受賞者左から 黒坂先生、松澤先生、浅井先生
前列: 左から 鈴木(黒川)先生、尾崎学長、高田先生

女性およびライフイベント中の研究者への研究支援を行なうため、平成30年度に新たな支援を3つ設立しました。

研究・論文作成支援による研究論文数の向上の取組みとして、①ダイバーシティ研究助成金(1件当たり50万円上限)、②ダイバーシティ英語論文作成費助成制度(1論文あたり5万円上限)、研究マインドの向上の取組みとして③ダイバーシティ表彰(学術分野)〔賞状と副賞(5万円)授与〕を募集しました。①の採択者、③の受賞者は上記のとおりとなります。皆さま、おめでとうございます。

なお、②については現在も受け付けております。

いずれの制度も、女性だけではなく子育てをしている男性も支援及び表彰の対象としていることが、他学よりも一歩進んだ特徴となっています。これらの制度が、本学教職員における医師、研究者としてのキャリアアップの一助となることを期待しております。

ダイバーシティ: 性別やライフスタイル等に関わり無く、多様な個性が力を発揮することにより、組織として最大限の能力を発揮しようという考え方。

医学部5年生キャリア教育 平成30年8月17日(金)

医学部5年生の全体集会の時間の中で、解剖学(機能組織)教授 池森敦子先生(勤務体制検討部会委員)より、ロールモデル講演を実施して頂きました。「臨床から基礎医学教室へ」というタイトルで、ご自身のこれまでのキャリアに加え、学生へのエールが込められた講演でした。キャリアについては、臨床現場での経験から、「臨床に還元できる研究」の重要性を認識し、現在の解剖学教室に配属となった経緯や、ワークとライフのバランスについて、教育、研究、臨床、子育てもしっかりと行なえる環境作りと感謝の思い(家族、地域、職場においては多職種)が大切であることを話して頂きました。30分の短い講演でしたが、力強いメッセージが込められていました。



医学部父兄会 平成30年10月20日(土)

平成30年10月20日(土)医学部父兄会懇親会の時間帯に昨年同様、「学生・保護者相談会」のブースを設置しました。当日の相談対応は、伊野副センター長、藤谷運営委員および、卒後のキャリア相談に対応するため、今回より臨床研修センターに協力をいただき、望月臨床研修センター副センター長にも対応をしていただきました。相談件数は3件でしたが、ご父母からは医師のキャリアについて、卒業後に他施設へ就職をしてもマリアンナへ再就職は可能なのか、などの相談がありました。次年度以降も、継続して相談ブースを設置いたします。



女性医学生・研修医と女性医師・ 教員との交流会 平成30年11月2日(金)

平成30年11月2日(金)17時30分より、教育棟1階マリオンにて、医学生(4、5、6年生)、研修医(1、2年目)および女性医師・教員の交流会を開催しました。今年は、冒頭に「平成30年度ダイバーシティ表彰(学術分野)授賞式」を執り行いました。高田女性医師・研究者支援部会長の開会の挨拶の後、厳かな雰囲気の中、学長よりダイバーシティ表彰(学術分野)受賞者である松澤先生、黒坂先生、浅井先生へ表彰状と副賞(5万円)が授与されました。受賞者3名より挨拶、学長祝辞に引き続き、黒川女性医師・研究者支援部会委員の乾杯の発声で、交流会の時間となりました。参加者は約50名で、男性の教員、学生にも多数参加をしていただきました。

交流会では、学生がキャリアを考える機会にしてみらえるような工夫をしています。今年は各診療科および専攻分野(一部)より提供していただいた情報、臨床研修センターパンフレット(大学、西部、多摩各病院)および大学院パンフレットを「診療科・専門医研修情報」用のパンフレットスタンドに配置して、気軽に見ていただけるようにしました。また、全情報を一元化して、52インチモニターで放映しました。

交流会に限らず、今後も医学生や研修医向けの様々なイベントで、マリアンナの医局や専攻分野の雰囲気を身近に感じていただけるように工夫をしてみたいです。



<参加者アンケート(抜粋)>

- ・表彰という式典との同時開催は、頑張っている先生方を知ることができて良かった。
- ・女性の医療関係者の立場について考える良い機会だと思いました。(医学生)
- ・もっと女性医師(若手)が来てくれると、いろいろキャリアについて聞けると思う。(医学生)
- ・ライフイベントをどう乗り切ったのか、話を聞きたい。(医師)

くるみんマーク

かながわ子育て応援団マーク



2016年5月
「子育てサポート企業」
として認定



2018年2月
「かながわ子育て応援団」
として認定

本学で作成する印刷物、名刺、ホームページ等に認証マーク「くるみん」、「かながわ子育て応援団」を使用することができます。認証マークの色彩は、黒色でも可能です。

<http://mip.marianna-u.ac.jp/campus/modules/documents/>
(マリアンナネット共有ファイル「マリアンナロゴ・写真」に掲載、ダウンロード可)

●男女共同参画キャリア支援センター●

電話044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp

平成30年度夏季短期学童保育

保育・介護支援部会では、今年の夏休み期間中に教職員のお子様をお預かりする学童保育を実施しました。小学1～3年生を対象として、7月30日(月)から8月2日(木)の4日間(いずれも8時30分から17時、教育棟5階セミナー室)を募集したところ、13名(兄弟2組)、4日間の合計39名、医師、看護師、メディカルスタッフ(医師・看護師以外)、秘書、事務など多職種に利用して頂きました。また、職員のボランティアを募集したところ、4組5種のイベントを実施することができ、お子さんの興味にあった内容が提供できました。短い期間でしたが、職員のお子さまと触れ合う、貴重な時間となりました。なお、保育業務については、株式会社ピジョンハーツに委託をしました。

♪教職員によるイベント♪

- 7/30 ・魚釣り大会(総合教育センター)
- 7/31 ・聴診器をろうろ(保育・介護支援部会&三宅副理事長)
- 8/1 ・腹話術(尾崎学長)
- 8/1・2 ・ダンスエクササイズ
- ・香りを楽しもう、アロマ体験(メディカルサポートセンター)

こんにちは！
ウサギの
“ジョー君”です！



腹話術



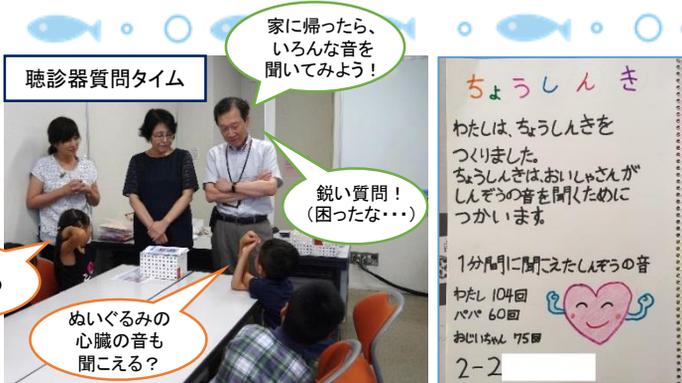
ダンスエクササイズ



アロマグッズ作り



学童の工作



聴診器質問タイム

家に帰ったら、
いろんな音を
聞いてみよう！

鋭い質問！
(困ったな・・・)

車の音も
聞こえるの
かな～？

ぬいぐるみの
心臓の音も
聞こえる？

ちょうしんき

わたしは、ちょうしんきを
つくりました。
ちょうしんきはおいしゅさんが
しんぞうの音を聞くために
つかいます。

1分間に聞こえたしんぞうの音

わたし 104回
パパ 60回
おじいちゃん 75回

2-2

《アンケート(抜粋)》

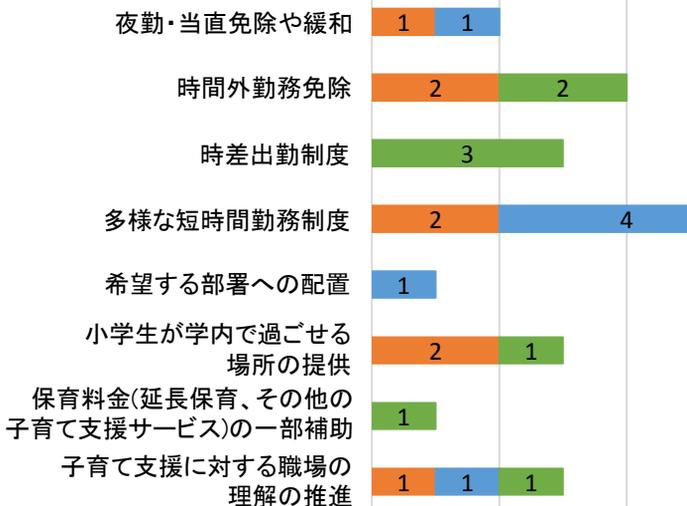
利用した感想

■とても良かった ■良かった



職場にあったらよいと思われる支援やサービス

■1位 ■2位 ■3位



[意見(抜粋)]

- 働く親にとって小学校低学年の夏休みは非常に悩ましい問題です。今回のように、普段の環境と違う所で保育を行なっていただけなのは、子供にとっても新鮮で楽しかったようです。
- 朝、子供と一緒に通勤は疲れることもありましたが、子どもが毎日行きたいと、いつもとは違う環境になじめたのも、スタッフさん方のおかげだと思っています。
毎日どうやって仕事まで行っているのか、バスや電車にも乗り、いろいろ経験ができたようです。短時間勤務が終了したら今までのような朝の見送り等できなくなることや、仕事が終わらず、帰りが遅くなることに強い不安を感じますが、病院側でもいろいろ企画してもらえたことで、少し頑張れたら良いなと思っていることもあり、考えていきたいと思えます。ありがとうございました。
- 毎日祖父母に子供と過ごしてもらっています。夏休みは特に祖父母への負担が大きいと考えていました。今回は短期ではありましたが、その間に祖父母が自分の時間を持つことができ、私の心の負担も軽くなりました。子どもも4日間で成長が見られました。ありがとうございました。
- 今回のように、普段の環境と違う所で保育を行なっていただけなのは、子供にとっても新鮮で楽しかったようです。もう少し上の学年向けの職業体験的な企画が夏休み中にあると、未来の医師やナースが誕生するかもしれませんね。



マリアンナさくら保育園

10月の保育園の様子です♪



10月4日(木)の歯科検診は、川崎市立多摩病院歯科口腔外科部長の石井宏昭先生に來園して頂き、実施されました。まったく動じないお子さんもいれば、口を開けたとたんにギャ〜!!、ワ〜ン(泣)・・・終わると、何事も無かったかのような笑顔^-^。とても賑やかな検診でした。

10月31日(水)のハロウィンは、仮装をした小さな魔法使いたちが、管理課を訪れました。病院内を歩くのは初めて！キョロキョロ、ワクワク！！ やっとたどり着いた管理課にはおもちゃがいっぱい♪おもちゃは、お休みの園児さんの分も用意されていました。



小さなお子さんは仰向け寝スタイルで診察



少し大きなお子さんは着席スタイルで診察



Happy Halloween!



* 保育園に関する問合せ *
管理課(病院本館4階)
内線6419、6406(桑原、岩田)

● 男女共同参画キャリア支援センター ●

電話044-977-8111(内線5814)、メール(ご相談・ご意見): career@marianna-u.ac.jp